〔大正十年四月二十二日第三種郵便物認可〕　磐城新聞　〔昭和五年一月七日〕　〔六日夕刊〕

休刊　第一第三週大祭日
定価　一部二銭　郵税共　一ケ月六十銭　十五銭
広告料　壱行六十銭　指定廿銭増
発行所　磐城新聞社　福島県平町田町十六番地　電話五六四番
印刷人　沼館輔

慎まねばならぬ 正月中の暴飲食

子供は戸外で遊べ

高久病院長談

腸チフスは温度の高い季節に多く冬には少ないものとのみ一般に考へられてゐるが、事實はこの考へとは可成相違してゐます、過去五ケ年間の腸チフス患者の

統計によるとその發病は春に於いては一二四、夏は一八四三、秋は一六五、冬は一五五四となつて居り、それに就いてみると一般に暖かい時期に於いて多く、却つて寒い時には早く血液を取つてチフスの方が遙かに少ないものであることが判ります、ではその主な原因は何かと云ふことになりますが、冬期に腸チフスを患ふ者を調査してみると性別では男性が著しく多數であり、

年齢別では十六歳から四十五歳迄即ち青年から壯年者で更にそれを職業別に見ると勤め人一番多くこれは年末賞與を手にしたばかりではあるし、忘年會、新年の御馳走等も重なつてある爲に、飲み喰ひをする數が殖える結果で、暴飲暴食、結果病菌に對する抵抗力が減退することが多くなつて來まして、この點策としては

飲み廻りをしようと言ふ者　必ず腸チフスの豫防注射を行ふことと、暴飲暴食の回數を出來るだけ少くすることに關心をしなければなりません、但し好注意すべき腸チフスと風邪の症狀が酷似してゐるので、腸チフスに罹つてゐながら風邪だらう位で放つて置く場合がよくあります

▲二黒の人　功名榮達期し於、その反面が肺炎となつて待つべし▲三碧の人　自ら苦しむことあり▲四緑の人　和合を缺くときは破滅を來す注意日あり▲五黄の人　高く上る時も八方より魔の誘ひに逢ふべし▲六白の人　粒々の汗より生れし利得と現るる大吉日▲七赤の人　不過は自ら招く大敵と知れ▲八白の人　剣々と發展し行く幸運日新規事業亦もよし▲九紫の人　凶運なれども勉せられた、太平記の上にべ

統計によるとその發病は春に於いては一二四、夏は一八四三、秋は一六五、冬は一五五四となつて家族ノ者に禍ひを及ぼすやうな例は少くありません、で頂きたいものです、又年末年始にかけて殊に

子供にとつて危險なのは暴食の機會の多いことです、正月の喰べ物は蛋白質其他の榮養素に富むものであつて暴食に陷り易くその結果胃腸を害して子供の健康を損ねることになりますから注意しなければなりません、昔から正月には男の子は凧を揚げ女子は羽子をつくかして屋外の運動をすゝめて實際に行つて居たものであるが近

講談

奇傑高山彦九郎

(34)　中西洋々作　布施長春畫

江戸を吹く風（八）

「兎に角、おれが仕事をしばらくためつて居る

ましたが、やがて相之介は、

「さうか、さ、どうぞ、た

「では、御免下され」

相之介は、かう云ひ乍ら、その西村と呼ぶ客人を迎へました。

「では、御免下され」

輕く會釋しながら、入つて來たのは大尺に近い偉丈夫左手に持つた大刀も、如何にも業物らしい裝ひです。

「拙者、お訊ねの塚本相之介、以後た見知りおき下さい」

相之介は、まづ、その人を訊ねました。

「これは、申遲れ申した」

客の武士は、大儀に、そ

「拙者ごとは、唯今、御取次まで申し入れ申した西村と申すもの、毎々御貴殿御教授に成り居る。

「うむ」

偶然の失業とは云へ、格別、そゝかしくあつかつてもゐないのに此出來事に最豫ねて望みを屬してをりましたので、その父ときいてむしろ、歡迎の聲さへ見せて云ひました。

「よくこそ出で下された何はともあれ、そこは、端近、さもずつとお進み下され」

「御免蒙る」

西村はまちかまへたような語調でないと、すうつと前に進み出ました、正に、相之介とは間尺の間

相之介は、好意の微笑をふとともすれば動搖しがちな心を强ひて落つけて、相之介は、客人を待ちました……。

「御案内申し上げました」

廊下としきりの障子があいて、爺やがかう聲をかけ

「玉之丞の父にござる」

「ほゝゝ、それは〳〵」

相之介は、玉之丞には、

「世は、もうすつかり秋で

芳醇無比
白馬の雪
松本徳一吟醸
平電話七五二

貸切自動車の御用命は
昭和タクシーへ
高級車で乗心地の好い
昭和タクシー
平驛前
電話は
二四三番
サシミ

夜間診療
胃腸梅毒
内科　十二指腸病　専門　外科　淋病　婦人病　皮膚病
松村医院
胃腸病科
(平町南町電話一〇七番)

平町紺屋町
古田眼科醫院

田町松月堂隣
サロンのパーには
何時も生ビールを準備してあります、そしてアイスクリームも十人前以上の御注文には何時も應じます。
冬のアイスクリームの後のコーヒーの味と醉醒めの後の水の味と何れが？
廿五日のクリスマス當日よりサロンでは七面鳥の御料理を種々と調理して御座います
何卒御家族御同伴で御試食の程を……
美味で評判の
きもちよいサロン
電話三五二番

外科一般（入院隨意）
内臓外科專門
花柳病科
平町六丁目（橋際）
木村外科醫院
電話三〇九

◆内臓外科
◆外科一般
◆花柳病科
入院隨意　自炊の便あり
平町田町赤心堂病院跡
安齋外科醫院
電話四三六番

新築落成
耳、鼻、咽喉科（專門）
氣管食道科
平町南町（齒科診療所向）電一七〇番
大和田醫院
大和田郡司
自炊の便あり

毛糸編物講習
生活改善は衣服から
消費節約も衣服から
發育盛りの小供には
毛糸編物が第一
夜間輕便文化器の
編物を無料講習致して
居ます、どうぞ
御遠慮なく御出で下さい
平町田町　縣田女學校隣
ハシモトヤ糸店

お
いしくて榮養に富んでしかも乳酸菌が發酵飲料
スキッレ
おいしい
レッキスは
胃腸を丈夫にします
便通を順調にします
骨格を頑丈にします
頭腦を明晰にします
體質を改善します
一ポン　五十錢

發賣元…蜂ブドー酒本舗　販賣店…店酒・店料食・店菓

R—141

一圓十錢のフランス
マルソー會社元詰
マルツー、ブランク
マルソー、ルージ　生葡萄酒
優良にして安價賣行き飛ぶが如し
平二　西村屋藥舗
たはなし　三番

市制實現の一路に 躍進する平町

新春を迎へて從來の 重大懸案解決

平町にとつて昭和五年は躍進を期待される年である、不景氣、緊縮といつても半分は時が

解決すべき大なる事項が數種あげられる、第一に工費三十七萬圓を投すべき上水道擴張工事、これはおそかれ早かれまがりなりにも解決を見て實現するのが自然であらうと一般が豫測する所である、第二に町役場新築である町役場は將來平市役所となるもの昭和四年度に於て新築實現される筈であつたのが緊縮の聲で延期 なつた、しかし右工費約八萬圓の一部に充つべき二萬餘圓は舊臘中に豫定通り町有土地の賣却によつて入ることになり更に同樣豫定の財源が出來る可能性充分である

財源が出來れば不景氣時代にかへつて工事を行ふべきである、即ち勞働賃銀安く工事材料も廉價であるから、故に町役場の新築も可能と見られる、第三には、平郵便局が新築落成をみることである、工費十七萬圓を投じられた東北に誇るべき大局舍は平町大通りの一角に來る五月を以てその勇姿を現すのだ、しかも局舍と共、電話交換室が新築され同時に右交換機は

最新式の 共電裝置が成り本縣通信界革命の先驅を承はるのである、大都市たらんには先づ通信機械の完備がなくてはならぬ、平町は本年に於て正にその實際を見ることが出來る、第四には石城郡團体事務所の建築落成その他かくて市制施行の一路へと平町の昭和五年は誠に鞭打たずして疾驅する春駒の如き感がある先づ同町の重大懸案の大部分はおせらずして昭和五年の時が解決するであらう

第一區々會 役員改選 當選者氏名

平町第一區(長橋新町)にては昨五日午前八時より川角區長宅に於て區會議員の投標を行つた結果當選者左記の如く決定した尚明七日午後一時より尼子亭に於て新年會を開催すると

川崎文治(六七點)小野園次郎(五八點)關內半平(五三點)渡邊富三(四八點)遠藤松之助(四一點)松本熊五郎(同)小沼春吉(三八點)遠藤柳之助(三七點)高子敎藏(三三點)小野富吉(三一點)

平局の連接 加入受付 七日から十四日まで

平郵便局に於ける昭和四年度增設共同線加入並に連接加入電話申請受付は來る七日より十四日迄(日曜日を除く)局窓口に於て取扱開始の事に決定之れが架設費は共同線加入金百圓連接加入金九拾圓外登記料金五圓を要するものなりと、尚一般申込數が調査の上豫定數に達せざる際は架設を爲さざる事あるべしと

不義の發覺を恐れ 從妹を絞殺し

死體を海中に投棄 犯人自首す

三日午後六時頃姬路署へ福島縣下の從妹殺し犯人が自首して出たので目下同地へ照會中だ、犯人は

福島縣石城郡植田町大森二七口入業植頭德造(三七)で昨年九月卅日午前三時同地照光寺其地で從妹、當、同郡勿來町植頭うた(一九)を下帶で絞殺し死體は高さ二丈餘の崖から海中へ突落し翌日八十圓餘を所持して逃走信州、關西地方、下關等を巧みに逃げ廻つてゐたが懷中無一物となり鄕里にも歸れずやむなく不義の惱みに耐へかねて自首したもので

原因はうたが昨年春から德造家へ手傳ひに來てゐる間に私通し姙娠六ヶ月になつたが德造には妻子もあり處置に困つた結果殺意を生じ兇行當日同人を實家に送つてやると稱し連れ出して周圍一里以上の前記廣大な墓地で殺したもので死體を突落した現場は殆んど人の往來せぬところで死體を發見されてをらず家族等は二人が駈落したものと信じてゐる模樣である

四倉海岸の 美人死體が 或は被害者か 四倉署緊張

前記德治のために絞殺された從妹ウタの死體は未だ判明せぬとて縣刑事課では植田、四倉、平各署と協力して搜査中であつたが、五日午前十時に至り犯罪發生當時の昨年九月三十日を過ぎた約一ヶ月後に四倉海岸で女の眞裸体の溺死体を發見した、死体が腐爛して居り當時檢視した時には他殺の疑ひがなく身元さいも判明せぬので當時村役場に於て埋葬せる事實が判明したので直に該死体を掘出して死体が前記德治の絞殺されたウタであるか否かを決定する事になつたが該決定は容易な事でなく專門家に依つてでなければ判明するものでなく萬一該死体がウタでないとせば更に死体搜査を行ふ方針であると

陳實果して 眞？疑？ 新任星署長斯く語る

右の殺人事件に就いて新任の星植田署長は語る

姬路署の照會で驚いて只今全署員で嚴重死体を搜査してゐますが何しろ着任早々のことで前記の模樣もさつぱり判らず弱つてゐます、土地の模樣は德藏の陳述通りなので、事實か、虛構の自白か何しろ珍らしい事件です署員に聞いて見たが當時同人等の搜査願ひは出てゐませんでした

新年に行はれる 萬歲の起原

支那に傳はる小豆粥の由來 民族史に現はれた風俗

新年に現れる樣々な信仰や色々と行はれる習俗儀式は年が改まる每に、よく

話 題 にのぼる、そこで私達は其のローマンチツクな起源について他の諸民族のそれ等も引合に出し、比較して見にいさうしたら興味も多からうしそれに各々の風習より、信仰なりの意味が一層はつきりして來るだらうと思ふ、風習信仰は、時代によつて次第に形や意味合が變つて行く、そこ 本來の意味はどんなところに存じたらうかといふことを考へなくてはならぬ、私は先づ若水や萬歲などに就いて斯樣な心持で考へて總ての年中行事のそうでもる樣に新年の行事も、その

起 原 の說明が色々樣々、一定してゐない、例へば萬歲の起原に就いては日本起原說と支那起原說とがある、支那では正月上元(十五日)に踏歌を行つてゐたが、これは我持統天皇の即位七、八年の正月十六日に漢人がその踏武を奉仕したことを根據としてゐるこの踏歌がつまりそれ以來我國 朝儀になり、そしてその餘風が萬歲となつたのだ、そして踏歌 別名を萬歲樂と云ふ、てその起原がつまり支那起原說と日本起原說とに分れてゐる譯である、正月五日に宮中 公事として手斧始めの式が行はれ、その終りに千秋

萬 歲 と祝詞を唱へられるが、現れの萬歲はその遺例である

× ×

正月十五日小豆粥を祝ふ由來にも色々な說あるが、支那の起原說として傳へられてゐるものは昔支那に高辛氏と云ふ人に一人の娘がつて、正月十五日旅に出て死んだ、所がその娘は心ねじけた女だつたので、その死靈が道路に止まり道行く人々を非常に惱ましたこの女は平常粥が好きだのでその命日の十五日に粥を炊いて弔つたのが始まりだと傳へられてゐる、又支那の黃帝が蚩尤と戰つて正月十五日に彼を殺した、死んだ蚩尤の首は

天 狗 に身體は蛇の靈となり、民衆を大變に惱ましたので、十五日に小豆粥を作つてその靈を祀つたのが、小豆粥を祝ふ始めだとも云はれてゐる、更に支那の共工氏に心のねじけた息子があり、それもある年の冬至に死んで疫病神になつた、この息子は平常小豆を大變に恐れしゐたので、十五日に小豆粥を炊いてその疫病神を拂つたのが、抑々この始まりだと云ふ說もある、次に日本に起つた說では、正月の祭りは十五日に終るから、最終の直會の意味で小豆粥をなめるとの說もある こう樣に正月十五日 小豆

粥 に 就いては樣々な說があるが、自分は原始的な所に立ち歸り、その意味を考へて見たいと思ふ

早春の華 平消防出初式

勇壯な水勢試驗後 優良組員表彰

平町消防出初式は四日午前五時より執行、消防組は二隊に分れて全町を練り步き梯子乘ばり等の離れ業等で町民を唸らせた午後一時より平警察署廣場に於て自動車ポンプの水勢試驗を行ひ更に午後二時より同町聚樂館に於て平警察署長より同消防組頭井上茂作氏十八年間勤續の表彰あり續いて同組頭より次の如く優良組員五十餘名に表彰を行つた、尚は引き續き同所に於て新年宴會を移つた

△永年勤續表彰者 十五年組頭井上茂作 廿五年小頭岡田政次郎 同消防手小松福松 廿年伍長田中宣治 同消防手馬場勝之助 拾五年伍長佐川三郎 卅五年消防手市川長作 十五年消防手辻金太郎 同大野松之助 同十年消防手今田義忠 同藤田專吉 同廣木正一 同小河原敏雄 同松本嘉七

△本期間功勞者 消防手辻金太郎 古山吉之助 松本忠次郎外十七名 鈴木喜一郎外二十七名 片岡敬太郎外二十三名 伍長根本幸次郎外八名 小頭鈴木彌太郎外八名 信號小河原繁雄

△火防組合表彰 田町 才槌小路 長橋町 三丁目 南町 月見町 材木町 (以上)

讀者と記者

投票權行使 大谷生

わたしは政治といふものをあまり知らなかつたところがそれは國民として自覺が足りないからだとある友達にいはれた立憲治下に息をついてゐる日本國民として政治に關心を待たないといふことは仰せの通り國民としての自覺が足りないからであることに相違ないかも知れない。

◇然しながら僕に自覺が足りないといつた友達の某がのくら滅法に殆ど前後の思慮を失ふ程度にまで政治問題にのぼせあがるのも眞の自覺から來てゐるのだかどうか聊か疑はしい

◇政治に自覺を持つといつてもぢつと政治の動きを監視してイザといふ場合に國民と共に協同の責任に與らうといふ態度と唯わけもなくのぼせあがつてわい〳〵騷ぎ廻る所謂友達の自覺といふのとは大分距たりがあるやうに思へる

◇僕は去年からはじめて選擧資格といふものを與へられて政治といふものに比較的無關心だつた吾々も選擧權の附與と共に或る責任を感じて來たのだ若し世間のいふが如く解散となれば一票を投ずるの義務を十分感じてゐるのだがさて誰に入れたらよいものか勿論まだ解散は固より誰れが候補者とも決まつてゐない今日今から投票の心配をするのはチト早計のそうだが吾々としては今から考慮を廻らして置く必要がある

◇兎に角最初の投票權行使でもあり日本國民として政治に參與する吾々の代議機關に立つ人々を選ぶのである以上さう輕々には出來ないなどと嫌がらせをいつてまさか投票を賣込まうなどといふ算段じはないのだが

◇實際政治といふものに對して白紙な自分には政黨の所屬によつてよいか惡いかは又政黨とは別個にその人物によつて考へてよいのか判らないのだ而も僕の乏しい知識によつて考へるところに從へば民政黨も政友會も政黨としての値打がどちらにあるのだか判斷がつかない、同時に人物を本意として考へる時これ又見渡すところ僕の惚込みさうな人物は今のところ見當らない賢明な先輩方の御意見を伺ひたいものです

解決 運炭夫問題

植田署長の調停で勿來炭礦では石炭運搬の輕便を敷設したので運炭夫三十八名を馘首する旨會社側で發表したので運炭夫側では復職を迫つたが會社側ではこれに應せぬところから惡化し田口植田署長が仲裁にはいつた結果この程左の調停案が圓滿解決した

一、一日の送炭十五噸一噸十六錢
二、現場整理一噸卅圓支給の事
三、解職手當二十四圓
四、夜間運炭割增金一噸につき二錢
五、減員十四名馬十四頭
六、その他一切を勿來運炭組合に一任する事

老人縊死 病氣を苦にし 二日赤井村で

赤井村大字西小川農草野貞三郎(六二)は去る二日午後五時頃自宅裏に於て數年來の心臟を苦にし家人並に緣者に宛て遺書三通を遺し縊死したと

見事失敗 盜み初め 四日好間で

石城郡好間村北好間佐藤賀三(二三)は四日午後六時頃同字佐藤倉次方に忍び入み現金二圓七十錢在中の蟇口を窃取逃走せんと表戶口に出た刹那出會頭に外出先より戾つた倉次に發見され平署へ突き出された

老人の死體 會川鐵橋の上で

石城郡赤井村字赤井羽賀廣次(七二)は去る二日午前七時四十分頃磐越東線會川鐵橋(同村地內)上を通行中折柄進行して來た平發小川鄕行列車のため無慘な轢死を遂げた

家屋賃貸 調查委員選擧 猛烈を極めん

現行家屋稅賦課方法を根本から改正する新家屋賃貸調查令は舊臘二十八日附公布即日施行することゝなつたが同令によると人口三萬を有する平町は十五人の調查委員を選擧し同委員の決定した價格によつて家屋稅を賦課することになるが四日施行とある以上五年度上期の家屋稅は新法によらねばならぬので平町では早くも委員選擧名簿作製その他の準備にとりかゝつた委員選擧は遲くも五月末日か六月上旬までに行はるべく所得稅調查委員選擧などより可成り猛烈を極めるものと觀測される

四倉署の極貧者 救濟は平年の二倍

町役場と協力して 舊正月までに精査

四倉警察署人事相談所では舊臘中委員會を開いて歲末窮困者救助法につき協議を遂げたことは既報の如くであるが同地方は舊慣を用ゐて超年するより其時期に於て救助すべく決し先づ平常老体にして扶養の義務者なきものを救濟し置くことゝなり早速施米をなしたが本年は救濟を要すべき者例年に比して數倍ある見込で松本所長は部下に命じて嚴密調査を遂げると共に四倉町役場では町內各區長に調査方を囑託したが該事業に贊同して左記諸氏から費用中へ左の金圓を寄贈されたと

▲金貳拾圓也鈴木勝太郎氏▲金拾圓也吉田壽三郎氏▲金拾圓也田中岩次郎氏

蠶業講演 來る九日訓盲院で

石城郡養蠶同業組合では來る九日午前九時から平[illegible]城訓盲院に於て蠶業講演會を開催する事となつたが當日の講師は本縣蠶糸課長並に養糸中央會參事支那特派員上原重美の兩氏である

豐間で鯛大漁

石城郡豐間濱の大敷網は昨夏網以來ノ不漁續きであつたが去る三日同濱 阿部、酒井遠藤氏等は鯛の大漁を見その額賃に一萬五千餘圓の高に上つたが新年早々の大漁事とて同濱一帶は非常な活氣を呈して居る

謹賀新年 石城免囚相談所 深谷卯三郎

特賣!! たひら正宗 福島縣清酒品評會 一等賞受領 花春 同 優等賞受領 醬油釀造元 鹽屋 山崎合名會社 電話一〇番

◎獨乙フンケル會社製 蓄音器針新荷着
◎一本の針デ五回モ使用ガ出來ル
◎高音低音ノ調節自由
◎値安ハ舶來品中デ最モ安イ勿驚 (二百本入五十錢)
△この最モ經濟的ナルアノ入針ヲ御薦メ致シマス
特約店 大谷時針病院 電話十九番

營業種目 內地材 材木各種、羽柄材各種 建築諸材請負 礦山用坑木其他諸材請負 外材部 米松、米杉、大角製材調達請負 其他 (百) 佐藤材木店 常磐線平町新川町 電話三三五番

內科診療 消化器病科 呼吸器病科 小兒內科 一般內科 入院應需(自炊ノ便アリ) 平町鼠坂 渡邊內科醫院 電話一六一番

外科 醫學博士 藤本順 產科 婦人科 院長 本村寅次郞 平町新川町 本村病院 電話一六四番